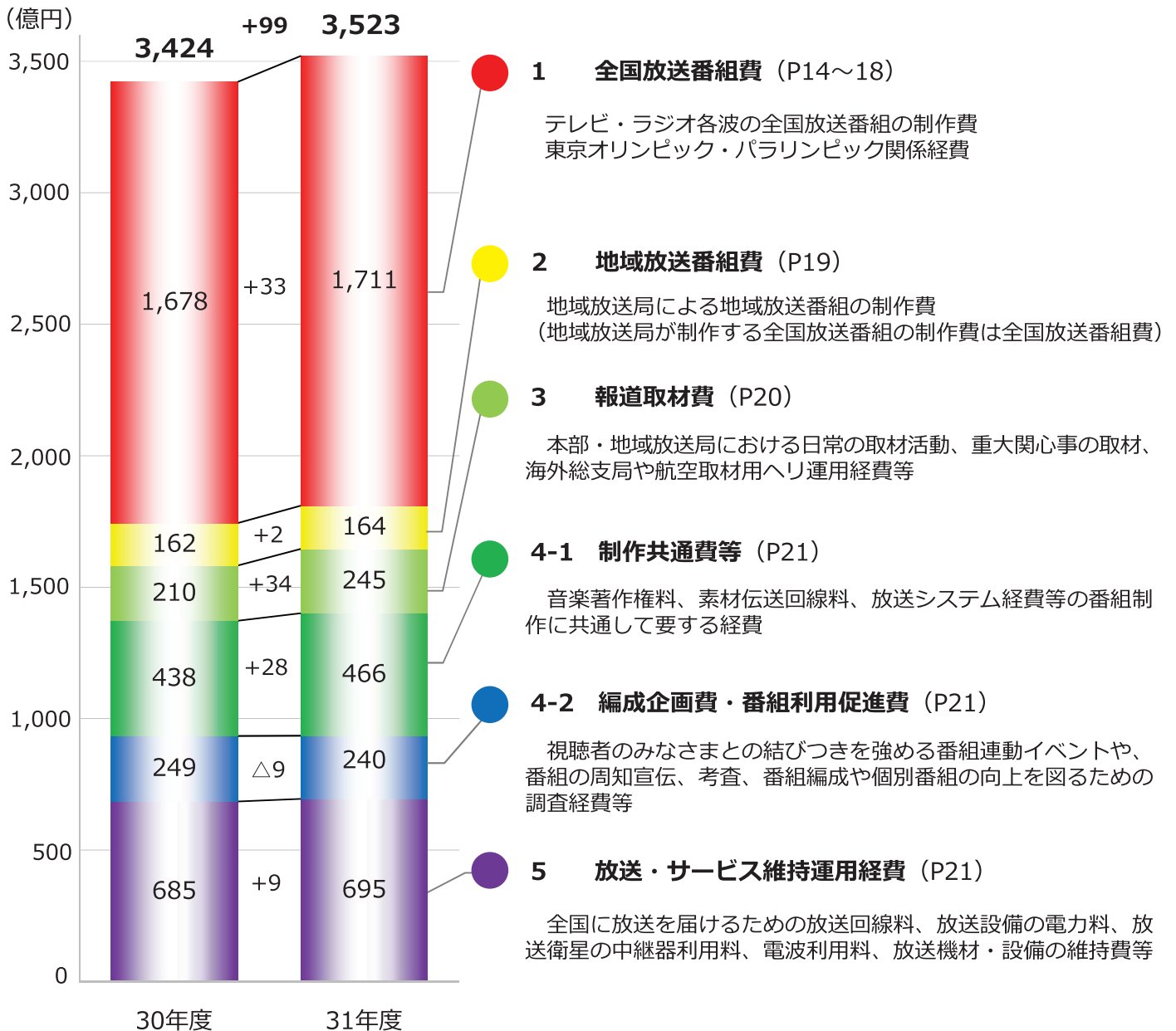


# (事業支出)

## 1 国内放送費

NHKが追求する6つの公共的価値（「正確、公平・公正な情報で貢献」「安全で安心な暮らしに貢献」「質の高い文化の創造」「地域社会への貢献」「日本と国際社会の理解促進」「教育と福祉への貢献」）を、多くの人にしっかりと届けるために、放送を太い幹としつつ、インターネットによるサービスも活用して、新たな時代の“公共メディア”を目指します。

放送と通信の融合時代においても、視聴者のみなさまの信頼をいただけるように、挑戦と改革を進めます。放送法で定められた公共放送の基本姿勢を堅持し、自主自律と不偏不党を貫いて、正確な情報を公平・公正に伝え、多彩で質の高い番組を追求していきます。



## ● 国内放送 各チャンネルの概要と編集のポイント

- 各チャンネルの概要
- 31年度編集のポイント

### 地上放送

#### NHKG

- 基幹波として防災・減災報道、公平・公正なニュースや番組、多彩な分野の番組を編成
- 幅広い世代から支持される魅力的な番組や現役世代・若年層に必要とされる番組を編成

#### Eテレ

- 教育、福祉などの重要課題に加え、語学・教養・趣味実用など多彩な番組を編成
- 10代を中心とする子ども・若者層との接点を拡大

#### ラジオ第1

- 安全・安心を担う音声基幹波として命を守り、日々の暮らしに役立つ情報を提供
- 平日早朝帯のニュース・情報番組をリニューアル

#### ラジオ第2

- 生涯学習波として、多様な知的欲求に応える番組や語学番組を編成
- “東京2020”に向けた英語番組の充実

#### NHK-FM

- 総合音楽波として、さまざまな音楽・芸能ジャンルの番組をバランス良く編成
- 平日夜間帯の“ポップスゾーン”を強化

### 衛星放送

#### BS1

- “ライブ感あふれる情報チャンネル”としてスポーツ、国際、地域などの各分野の番組を編成
- “東京2020”に向けて、関連番組を編成、高まる関心に応える

#### BSプレミアム

- “スーパーモアチャンネル”として個性と見応えのある番組を多彩に提供
- 週末の魅力ある超大型特集番組の充実

#### BS4K

- “スーパーハイビジョンの入り口”と位置づけ、幅広いジャンルの番組を編成
- “土曜は4K” 4K独自番組を集中編成

#### BS8K

- 超高精細映像と臨場感あふれる迫力の音響を生かした“未知の映像体験”を提供
- 圧倒的インパクトのある新作コンテンツを日曜ゴールデンタイムに集中編成

# 1 全国放送番組費〔地上放送〕

## 総合テレビジョン

基幹波として、安全と安心を守る報道に全力をあげて取り組み、何人からも干渉されない放送の自主自律と不偏不党を貫きます。また、公共メディアへの進化に向け、公平・公正で社会の指針となるニュースや番組、娯楽・文化・スポーツなどの多彩な番組を充実させるとともに、“公共メディア・キャンペーン”などの創造的な取り組みを本格的にスタートさせます。東京オリンピック・パラリンピックへの関心に応えながら、ポスト2020を意識し、これまでにないデジタルとの連携など新たな放送サービスの開発に積極的に取り組みます。また、地域の発信力を高め、地域サービスの向上を図ります。

- ・幅広い世代から支持される魅力あふれる番組や現役世代・若年層に必要とされる多彩な番組を編成
- ・社会的な課題に取り組み、公共メディアへの進化を目指す
- ・ネット世代との接触増を目指した番組の強化・拡充
- ・“東京2020”への機運を高める番組編成とポスト2020を見据えた共生社会の理解を深める番組の開発
- ・地域の魅力を全国に発信



大河ドラマ  
「いだてん～東京オリンピック噺（ばなし）～」

## 教育テレビジョン (E テレ)

教育、福祉などの重要課題に加え、語学・教養・趣味実用など多彩な番組を編成し、教育放送として、幅広い世代の「知りたい」「学びたい」に応えます。番組とインターネットサービスの連携を戦略的に設計し、子ども・若者の視聴拡大を図るとともに、人々の暮らしに寄り添い、豊かにする放送を目指します。

- ・10代を中心とする子ども・若者層との接点を拡大
- ・インターネットと連動したサービスを充実し、子どもの“体験”をサポート
- ・“東京2020”とその先の共生社会実現に向けた番組を強化
- ・好奇心を刺激し、話題にしたくなる教養エンターテインメント番組の開発



「ハートネットTV」

## ラジオ第1放送

安全・安心を担う“音声基幹波”として、ニュース番組を拡充し、日々の暮らしに役立つ情報を深く、わかりやすく伝えるとともに、いざという時には、命を守る情報をきめ細かく届けます。幅広い世代の期待に応えるため、番組・時間帯ごとのターゲットを明確にし、多彩なジャンルの番組を展開します。地域情報番組を充実させるとともに、地域の魅力を全国へ発信します。デジタル展開を推進し、インターネットラジオ「らじる★らじる」のさらなるサービス向上を図ります。

- ・平日早朝帯のニュース・情報番組をリニューアル
- ・平日夜間帯エンターテインメントゾーンの刷新
- ・土日の日中帯に家族で楽しめる番組を拡充

## ラジオ第2放送

生涯学習波として、多様な知的欲求に応える番組を編成するとともに、インターネットサービスとの連携で“いつでも”“どこでも”学べる機会を提供します。さらに、語学番組や多言語ニュースゾーンを整備し、“東京2020”に向けて加速する国際化に対応します。

- ・“東京2020”に向けた英語番組の充実
- ・アジア言語によるニュースゾーンの整備

## F M 放送

F M放送は、総合音楽波としてさまざまな音楽・芸能ジャンルの番組をバランス良く編成し、リスナーの期待に応えます。平日夜間に魅力的なパーソナリティーを起用し、現役世代やインターネット世代を中心に、幅広い世代で接触者の増加に取り組みます。災害などの緊急時にはライフライン情報を提供し、地域情報波としてきめ細かな情報を届けます。

- ・平日夜間帯の“ポップスゾーン”を強化
- ・1年限定で放送する番組を開発
- ・聴取ターゲットを明確にしたゾーンへ伝統音楽番組を移設

### 全国放送番組費〔地上放送〕の内訳

(億円)

区 分	30年度 予 算	31年度 予 算	増減額	率・%	備 考
地 上 放 送	924.1	933.7	9.5	1.0	
総合テレビジョン	676.3	685.2	8.8	1.3	東京オリンピック・パラリンピック関連番組の充実、定時・特集番組の充実等
教育テレビジョン ( E テ レ )	209.3	210.0	0.7	0.4	番組とインターネットサービスとの連携の充実等
音 声 放 送	38.4	38.4	△ 0.04	△ 0.1	番組ホームページの効率化等

# 1 全国放送番組費〔衛星放送〕

## BS1

“ライブ感あふれる情報チャンネル”として、「スポーツ」「国際」「地域」「ドキュメンタリー」の各分野を進化させます。東京オリンピック・パラリンピックに向けて関連番組を強化するとともに、見応えのあるドキュメンタリーの充実を図ります。また、地域を応援する番組や、視聴者が参加できる番組の拡充も目指します。

- ・“東京2020”に向けて、幅広くオリンピック・パラリンピック関連番組を編成し、高まる関心に応える
- ・世界や日本の今を伝えるドキュメンタリー番組の強化
- ・地域の魅力や課題を取り上げ、地域を応援する番組の充実
- ・視聴者の意見やアイデアをもとに、テーマを掘り下げて企画する番組の充実



「ザ・ディレクション」

## BSプレミアム

“スーパーモアチャンネル”として、ほかのチャンネルにはない衛星放送ならではの個性と見応えのある番組を多彩に提供し、視聴者の期待に応えます。時間帯ごとにターゲットを明確にして番組の強化を図るほか、日本の文化、地域の魅力を発信する番組を充実させます。

- ・週末の魅力ある超大型特集番組の充実
- ・視聴者層拡大を目指した、若い世代向け番組の強化
- ・地域の魅力を発信する時間帯の編成
- ・定時番組の充実による夜間帯の強化



「ガイロク（街録）」

## BS4K

※放送時間は、1日18時間を基本とします

BS4Kは、超高精細映像に身近に触れてもらう“スーパーハイビジョンの入り口”と位置づけ、幅広いジャンルの番組を編成します。地上波や衛星波で放送中の人気番組を4K制作して一部先行放送するほか、土曜には4Kの超高精細映像と機動性を生かした大型番組や独自番組も放送します。また平日は曜日ごとに同じジャンルの番組を編成することで見やすくします。

- ・“土曜は4K” 4K独自番組を集中編成
- ・平日は、ジャンル編成した“ベストセレクト・チャンネル”
- ・日曜は、夜間に大型コンテンツ、午前に大河ドラマを編成
- ・“東京2020”を前に五輪競技を中継し、関連番組を編成
- ・平日夜間の「8Kベストウインドー」でBS8K番組を紹介



「岩合光昭の世界ネコ歩き」

## BS8K

※放送時間は、1日12時間10分を基本とします

BS8Kでは、ハイビジョンの16倍の画素数を誇る超高精細映像と2.2マルチチャンネルが生み出す臨場感あふれる迫力の音響を最大限に生かした、これまでにない“未知の映像体験”を提供します。あたかも本物と向き合っているかのような“没入感”に満ちた番組や、まるでスタジアムやコンサートホールの特等席にいるかのような“臨場感”にあふれた番組を編成し、世界も認めるスーパーコンテンツを発信することで、次世代の映像文化をリードしていきます。

- ・圧倒的インパクトのある8Kクオリティーの新作コンテンツを、日曜ゴールデンタイムに集中編成
- ・“東京2020”を前に五輪競技の8K中継を拡大



Coproduction 8K NHK-Château de Versailles  
究極ガイドTV  
「2時間でまわるヴェルサイユ宮殿」

### 全国放送番組費〔衛星放送〕の内訳

(億円)

区分	30年度 予算	31年度 予算	増減額	率・%	備考
衛星放送	728.4	777.5	49.1	6.8	
B S 1	359.5	346.8	△ 12.7	△ 3.5	2018 F I F A ワールドカップロシアの終了による減等
B S プレミアム	291.4	287.3	△ 4.1	△ 1.4	B S 4 K ・ B S 8 K 一体制作の推進等による減等
B S 4 K	62.4	118.0	55.6	89.1	多彩なコンテンツ、4Kオリジナル番組の充実等
B S 8 K	14.9	25.3	10.4	70.3	五輪競技の8K中継の拡大等

### 参考3

## 4K・8Kスーパーハイビジョンの強化

4K・8Kスーパーハイビジョンは、番組制作費に加え、パブリックビューイング経費や制作・送出業務経費等を含め、前年度に対し45.1億円増の186.3億円で実施します。

また、建設費は番組制作設備・ニュース送出設備の整備等のため167.7億円で実施します。

(億円)

区分 (金額は再掲)	30年度 予算	31年度 予算	増減額	率・%	備考
<b>国内放送費</b>	<b>141.2</b>	<b>186.3</b>	<b>45.1</b>	<b>32.0</b>	減価償却費を除く物件費
番組制作費	※ 102.8	143.4	40.6	39.5	B S 4 K、B S 8 Kの番組制作費
技術関係経費等	38.3	42.9	4.5	11.8	パブリックビューイング経費、制作・送出業務経費等
<b>建設費</b>	<b>202.8</b>	<b>167.7</b>	<b>△ 35.1</b>	<b>△ 17.3</b>	番組制作設備・ニュース送出設備の整備等

※スーパーハイビジョン試験放送の番組制作費25.4億円を含む（平成30年7月23日終了）

### 参考4

## 東京オリンピック・パラリンピック関係

“東京2020”に向けて、オールNHKで推進する多様なプロモーション展開や、日本中が全員参加でつなぐ聖火リレーを全国の放送局と連携し全世界に発信します。

(億円)

区分 (金額は再掲)	30年度 予算	31年度 予算	増減額	率・%	備考
<b>国内放送費</b>	<b>26.8</b>	<b>53.7</b>	<b>26.8</b>	<b>100.1</b>	聖火リレー中継や関連番組の制作、イベント・プロモーションの展開等

## 2 地域放送番組費

地域放送局は、地域の安全・安心の拠点となるとともに、雇用、教育、医療、福祉、農業などの分野で地域が抱える課題と向き合います。

地域に密着したニュースや情報番組、きめ細かな生活情報番組、また地域が抱える課題と向き合う番組などを放送します。

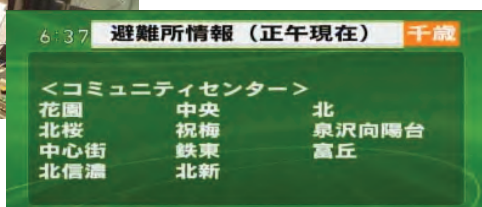
### 全国の放送局と本部がしっかりと連携して、地域社会に貢献

- 地域で暮らす人の視点から、役立つ情報、関心の高いテーマ、固有の課題などを積極的に取り上げ、地域放送を通じて地域社会に貢献
- 全国放送では、地域で制作した番組も活用しながら、豊かな自然・文化・人々の営みなど、地域の魅力を広く発信
- 大規模災害時や、各地に共通する課題については、全国の放送局と本部を結ぶNHKならではのネットワークをフルに活用して、迅速かつ的確に情報発信と解決に向けた対応を実施

#### 地域放送時間（1日あたり計画値）

総合テレビジョン	2時間30分程度
ラジオ第1放送	2時間30分程度
F M放送	1時間20分程度

全国 54 放送局



災害時のライフライン放送



金曜夜間の地域放送番組

(億円)

区 分	30年度 予 算	31年度 予 算	増減額	率・%	備 考
地 域 放 送 番 組 費	162.0	164.2	2.2	1.4	地域の特性を生かした地域放送番組の充実等

#### 地域放送・サービスの充実

地域拠点局が域内の経営資源をマネジメントするブロック経営を推進し、地域放送・サービスの充実を図ります。また、本部による地域放送番組制作支援を強化します。

(億円)

区 分 (金額は再掲)	30年度 予 算	31年度 予 算	増減額	率・%	備 考
国 内 放 送 費 等 ※	396.9	409.2	12.2	3.1	

※地域放送番組費に加え、報道取材費や放送・サービス維持運用経費等を合わせた地域放送局が管理する予算



### 3 報道取材費

世の中の課題や最新情報、人々の判断のよりどころとなる正確な情報を多角的に取り上げ、公平・公正に伝えることで、「情報の社会的基盤」の役割を果たします。「命と暮らしを守る」防災・減災報道に全力で取り組み、より多くの人の安全・安心に貢献します。

#### 1 国内外の課題や最新情報を、正確に、早く、深く、わかりやすく

- 第25回参議院議員通常選挙や統一地方選挙などでは、万全な取材体制を確立し、正確で公平・公正な情報を、早く、深く、わかりやすく伝える
- インターネットを活用した情報収集や、データジャーナリズムなどの調査報道の手法なども取り入れながら、時代の節目を迎える日本と世界の“今”を、多角的に伝える



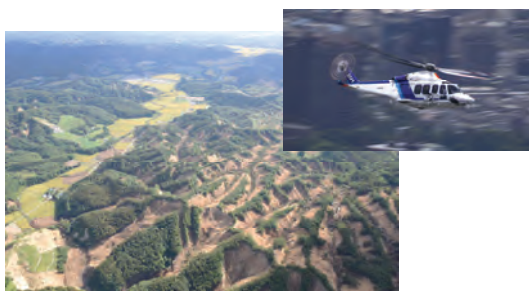
世界各地のさまざまな課題と向き合う



インターネット上の情報やビッグデータを多角的に分析・視覚化し、調査報道や減災報道に活用

#### 2 安全・安心を守るために、防災・減災報道、緊急報道を充実し、被災地の復興を支援

- 全国ロボットカメラの整備・強化を図るなど緊急報道体制を整備し、大規模災害時も途切れることのない放送・サービスを維持
- 東日本大震災をはじめとする全国の被災地の復興を支援、原発事故後の対策も継続して取材
- テレビ・ラジオ・インターネットを使い分けながら、的確な情報を発信



航空取材用ヘリからの中継による災害報道



原発事故後の対策について継続取材

(億円)

区分	30年度 予算	31年度 予算	増減額	率・%	備考
報道取材費	210.7	245.3	34.5	16.4	
国内取材	173.4	206.9	33.4	19.3	参議院議員選挙や統一地方選挙放送実施、 防災・減災報道の充実による増等
海外取材	37.2	38.4	1.1	3.0	アメリカ大統領予備選挙放送実施に よる増等

## 4 制作共通費等

制作共通費等は、番組制作や正確な放送を支えるシステムの開発・運用経費や、権利者団体と包括的に契約している音楽の共通著作権費、素材伝送回線料、インターネットサービス充実のための経費のほか、映像等資料のアーカイブ化経費、番組審議会の開催、番組の公開・催物の経費等です。

また、東京オリンピック・パラリンピック関連の多様な企画やプロモーション展開にも取り組みます。

(億円)

区 分	30年度 予 算	31年度 予 算	増減額	率・%	備 考
制作共通費・ 共通著作権費・ 素材伝送回線料等	438.4	466.6	28.1	6.4	インターネットサービスの充実、 東京オリンピック・パラリンピック関連 企画経費の増等
編成企画費・ 番組利用促進費	249.5	240.5	△ 9.0	△ 3.6	B S 4 K ・ B S 8 K 放送開始に伴う プロモーションの計画見直し等

## 5 放送・サービス維持運用経費

放送・サービス維持運用経費は、視聴者のみなさまに良質で安定した放送・サービスをあまねく提供するために必要となる技術設備の運用経費です。

具体的には、放送所施設・共同受信施設のメンテナンス経費や電力料、放送回線料、放送衛星の利用料、番組の制作や送出に係る設備の運用経費等です。

(億円)

区 分	30年度 予 算	31年度 予 算	増減額	率・%	備 考
放送・サービス 維持運用経費	685.8	695.7	9.8	1.4	
放送所施設・ 共同受信施設運用費	132.9	137.1	4.1	3.1	放送所施設の維持運用費の増等
放送回線料	57.4	58.1	0.6	1.2	テレビ放送回線料の増等
衛星放送施設運用費・ 放送会館施設運用費等	495.4	500.5	5.0	1.0	年間を通じたB S 4 K ・ B S 8 K 放送の 実施に伴う制作・送出業務経費の増等

### 参考5

### 事業支出のうち伝送部門に係る経費

N H K から視聴者のみなさまのご家庭等への、番組の送信に係る経費です。中継放送所の維持経費や電波利用料、放送衛星利用料等が含まれています。

(億円)

区 分 (金額は再掲)	30年度 予 算	31年度 予 算	増減額	率・%	備 考
伝送部門に係る経費	374.9	390.7	15.7	4.2	
物 件 費	197.5	208.3	10.7	5.5	年間を通じたB S 4 K ・ B S 8 K 放送の実施に伴う増等
人 件 費	18.2	17.9	△ 0.2	△ 1.2	伝送部門に係る職員の人件費
減 価 償 却 費	159.1	164.3	5.1	3.3	償却対象資産の増等

スマートフォンやタブレット端末の普及が進む中、放送を太い幹としつつ、激しい環境の変化や技術の進歩発達に適時・適切に対応しながら「情報の社会的基盤」としての役割を果たしていくために、インターネットならではの特性を生かした放送番組や関連情報の提供がますます重要になっています。より多くの人々が、さまざまな状況や環境下において「いつでも、どこでも」利用できるサービスを提供するため、多様な伝送路を通じて、放送だけでは提供しきれない多種多様な情報の発信を強化していきます。

31年度は特に、東京オリンピック・パラリンピックを前に、感動を伝え視聴者の心に残るようなオリンピック・パラリンピック関連情報を幅広く提供します。また、「命と暮らしを守る」防災・減災報道に全力で取り組みます。

インターネット活用業務

- 人々の判断のよりどころとなる正確な情報を公平・公正に伝える
- 気象・災害情報や避難所・ライフライン等に関する情報を提供
- 大規模災害時等、国民生活や社会全体に大きな影響を及ぼす情報を伝えるニュース・番組を、放送と同時に提供
- 東京オリンピック・パラリンピックを前に、国内外のさまざまなスポーツイベントで、新しい技術を積極的に活用しながら、スポーツの魅力や迫力を多面的に発信
- 幅広い年齢層の学習に役立つコンテンツや、子どもがアクセスしても安心なサービスの充実
- ラジオ放送を補完し、安全で安心な暮らしや多様な地域社会に貢献する「らじる★らじる」のサービスの充実
- 日本・アジアへの関心の高まりに応え、ホームページやアプリを通じて、日本やアジアのニュース・情報の発信を強化



スマートフォン・タブレット端末を対象にした公式アプリ  
「NHKニュース・防災」

「NHK健康チャンネル」

(億円)

区分 (金額は再掲)	30年度 予算	31年度 予算	増減額	率・%	備考
<b>インターネットを通じた 放送番組等の提供</b>	<b>156.3 (2.2%)</b>	<b>168.7 (2.4%)</b>	<b>12.3</b>	<b>7.9</b>	( ) は受信料収入に占める比率
物 件 費	118.4	131.2	12.8	10.9	東京オリンピック・パラリンピック デジタル展開、インターネット サービスの基盤強化等
人 件 費	34.2	31.3	△ 2.8	△ 8.4	インターネット活用業務に係る 職員の人件費
減 価 償 却 費	3.7	6.0	2.3	63.5	動画配信設備等の減価償却費

・ 上記は放送法20条2項2号受信料財源業務の実施に要する経費であり、2号有料業務および3号業務は除きます。  
 ・ インターネット活用業務の内容については、別に定める実施計画でお示しします。

高齢者や障害のある人などだれもが積極的に社会に参加することができる「共生社会」の実現に貢献するため、新たな長期計画に基づき、字幕放送・解説放送・手話番組等の「人にやさしい放送・サービス」のさらなる拡充に努めます。ニュース等の生字幕放送については、地域放送も含めて引き続き取り組みます。

(億円)

区 分 (金額は再掲)	30年度 予 算	31年度 予 算	増減額	率・%	備 考
<b>総 額</b>	<b>28.8</b>	<b>29.8</b>	<b>0.9</b>	<b>3.3</b>	
字 幕 放 送	23.8	24.0	0.1	0.7	字幕付与番組の拡充
解 説 放 送	2.5	3.1	0.5	21.8	解説付与番組の拡充
手 話 番 組	2.4	2.6	0.2	8.7	手話番組の充実

放送時間 (計画)

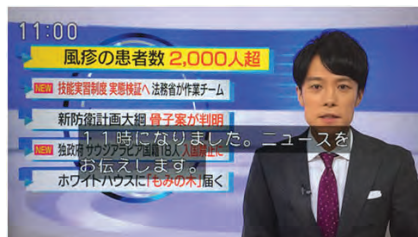
(本部・地上波計 1週あたり 再放送含む)

区 分	30年度	31年度	増 減	備 考
字 幕 放 送	242時間31分	243時間39分	1時間08分	
解 説 放 送	45時間31分	47時間20分	1時間49分	
手 話 番 組	3時間55分	3時間55分	—	

・衛星放送については、字幕放送270時間40分、解説放送22時間18分です。



生放送の字幕制作風景



ニュースの字幕放送



「NHK手話ニュース」